

編集後記

●特集1には、「新型コロナ」にまつわる先生方の声が詰まっています。「自らがコロナに感染してはならない」という重圧。何度も変更になる「予定」に振り回されながら、子どもたちのためにと授業や行事の練り直しに膨大な時間を費やし、消毒などの新たな業務を黙々とこなす。今回のコロナ禍を、教員個人の無理と善意に頼った働き方を変える契機にという声に、うなずくことしきりです。(こ)

●子ども同士のトラブル等が気になって、不安を抱え学校に連絡してくる保護者。特集2は、そうした不安をどう受け止め、子どもの成長を共に見守っていくかについて取り上げています。「もう学校には行かせません!」という言葉の後ろに、「わが子の学習面が心配でたまらない」という思いが隠れているなど、原稿を読んでいると、訴えの背景にある気持ちを汲み取ることの大切さを改めて感じます。(た)

次号のお知らせ

●特集1 イライラしがちな子への対応
前年度と比べて窓ガラスの破損が多いという話を聞きました。コロナ禍の影響もあるのでしょうか。次号では、イライラしがちな子にどのようにかかわるかの対応例や、ワークの具体例を紹介します。

●特集2 コロナ禍、発達障害のある子への対応
行事予定の変更や、新しいルールの登場などにより、大きな不安を抱えている発達障害のある子も多いと思います。コロナ禍における、発達障害のある子とのかかわりでの工夫や注意点を考えます。



学校教育相談

2020年 令和2年 11月号

定価 820円 (本体 745円)

2020年11月1日発行

●発行所

●ほんの森出版株式会社

〒145-0062

東京都大田区北千束3-16-11

電話 03-5754-3346

FAX 03-5918-8146

URL <https://www.honnomori.co.jp>

●編集企画 学校教育相談研究所


●発行人 小林敏史

●印刷所 研友社印刷(株)

ほんの森掲示板

●近年、大学でもピア・サポートを導入する動きが活発になってきています。日本学生支援機構の2005年の調査では、国立大の33.3%、私立大の11.0%が、ピア・サポートなど学生同士の相互支援の制度を導入していました。それが直近の2017年度の調査では、国立大学では88.4%、私立大学では48.0%と増えています。ほんの森出版では、これまでもピア・サポートについての書籍を発行してきましたが、このような状況も踏まえ、現在、『大学でのピア・サポート入門』という書籍の制作を進めています。

●本誌の2020年4月号からの1年間の誌代は12,340円(税込 増刊号2冊を含みます)。振替口座 00140-4-768848 雑誌・書籍のご注文は、書店もしくは直接小社にどうぞ。本誌定期購読の場合は送料サービス。書籍・バックナンバーのご注文は1冊につき送料100円(3冊以上送料サービス)でお送りします。お支払いは送本時同封の郵便振替用紙で。

● **文書ファイル配布** ページ下にこのマークが入っている ※詳しくは奥付を! 資料のファイル(一太郎・ワード・パワポなど)を希望の方はホームページからご連絡ください。

ほんの森出版

検索